

「池田小学校の神舞伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立池田小学校

2 学年・人数

3年生から6年生（計8人）

3 日時・場所

- (1) 練習の日時・場所
令和5年10月～11月 総合的な学習の時間（本校体育館）
- (2) 発表の日時・場所
令和5年11月3日（金） 錦江町文化祭・生涯学習推進大会
（錦江町文化センター）
令和5年11月11日（土） 学習発表会（本校体育館）
令和5年11月26日（日） 旗山神社新嘗祭（旗山神社境内）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

- (1) 名称
池田旗山「神舞（かんまい）」
- (2) 由来
池田旗山に伝わる神舞は、300年以上前から池田地区に伝わると推測され、舞い手自ら口上を述べながら舞う神楽と呼ばれる神への奉納舞である。
豊作を祈り、収穫の無事を喜び感謝する思いは遥かに強く、その思いは今でも受け継がれ、祭りという形で残っている。
- (3) 構成等
かつては48種の神舞があったそうだが、現在では、多力鬼神（たちからきじん）、山神鬼神（やまんかんきじん）、霧島鬼神（きりしまきじん）、長刀舞（なぎなたまい）、吉野神師（よしのかんじ）、しば鬼神、鬼神舞、矢抜き鬼神、四人鬼神（よったいきじん）、田の神舞の10種の舞が引き継がれている。

5 保存会や地域との連携の具体

今年度は、4月に神舞保存会との総会を行い、今年度の計画を立てた。今年度は学習発表会だけでなく、錦江町文化祭や地域の神社の新嘗祭など、発表の機会を増やすことにした。

練習は昨年度同様、10月から週1～2回程度行った。発表内容は、「鬼神舞」「多力鬼神」「吉野神師」とした。指導は、神舞保存会の方々に加え、本校職員も篠笛と締太鼓で参加した。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

神舞の継承を進めるため、舞の工夫だけでなく、指導する組織の工夫も行った。その結果、神舞保存会だけでなく、本校職員や保護者、地域の方等、多くの人材と神舞の継承活動を進めることができた。

7 取組の様子（発表当日の様子）

今年度は3回、発表の場を設けた。錦江町文化祭・生涯学習推進大会では、児童が町民の前で堂々と発表し、満足そうにしていた。学習発表会（わくわくフェスティバル）では、校区内の全戸に案内状を出し、地域の方にも来校を呼び掛けた。旗山神社新嘗祭では、地域の有志と共に神舞を奉納し、地域の方から大きな拍手をいただいた。地域の方々も、とても喜んでおられた。



《3年、5年児童による町文化祭での鬼神舞》



《旗山神社での児童と職員》



《3・4年児童による学習発表会での鬼神舞》



《5・6年児童による学習発表会での吉野神師》

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

- ・ 地域の方がたくさん見てくれていたので緊張したけれど、とても心に残るいい経験になった。来年もまた舞いたい。
- ・ 今年は去年と違う舞だったから不安だったけど、神舞保存会の方々丁寧に教えてもらったので、すぐに覚えることができた。本番はいい発表になったと思う。

【教職員】

- ・ 今年は、発表の場を更に広げることができ、児童の郷土に対する愛着を深めることができた。地域に恩返しができたのではないかなと思う。
- ・ 職員が、篠笛や締太鼓の演奏ができるようになり、舞と演奏を併せた練習時間を多く確保することができるようになった。

【保存会・地域の方から】

- ・ 学校での活動から地域での活動に繋がり、16年ぶりに神社での神舞奉納を実施することができ、とてもよかったと思っている。
- ・ 池田地区に昔から伝わる神舞を観られることができて嬉しかった。